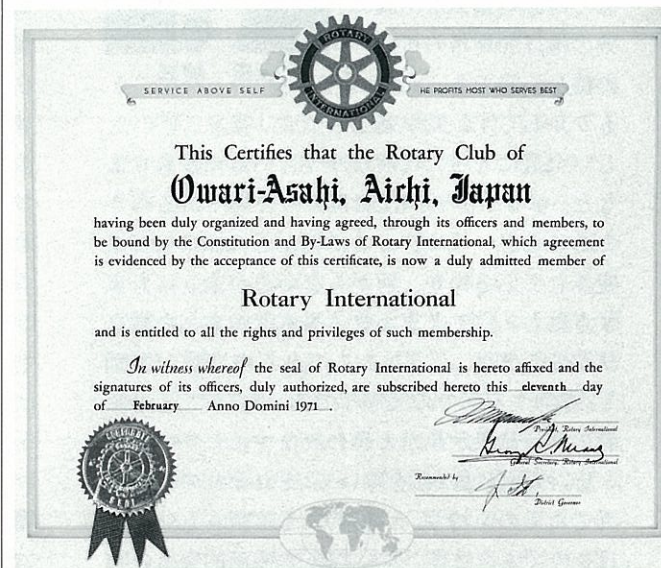


尾張旭R.C.が生れるまで



認 証 状 (昭和46年2月11日承認)



特別代表
(故) 二宮 恵一氏

設 立 の 経 過

- 1970 11. 5 瀬戸ロータリークラブより特別代表を推薦した。
 11. 7 瀬戸ロータリークラブの会員で、同クラブ会長の前歴のある二宮恵一氏が特別代表に任命された。
 11. 10 拡大調査報告書を提出した。
 11. 18 キーメン会合を開催した。
 11. 19 瀬戸クラブ会員で同クラブ幹事の前歴ある加藤政良氏がガバナースエイドに任命された。
 11. 25 キーメン会合し、チャーターメンバー予定者を内定した。
 12. 9 尾張旭市の分割決議報告書を提出した。
 12. 17 尾張旭クラブのチャーターメンバー予定者全員が集合し、種々協議した。
 1971 1. 6 瀬戸ロータリークラブ例会に、尾張旭ロータリークラブ・チャーターメンバー予定者全員出席し、創立総会について協議した。
 1. 13 尾張旭ロータリークラブのキーメン会合をし、創立総会を開く日時を協議決定した。
 1. 20 キーメン会合で総会決定事項、定款、理事役員等について協議内定した。
 1. 22 創立総会を開催 (チャーターメンバー24名) し、諸議案を議決決定した。
 6. 20 国際ロータリー加盟認証状伝達式 (ホテルナゴヤキャッスル) を行った。

クラブ概要

(1)クラブ沿革

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 創 立 | 昭和46年1月22日 |
| 2. 創立会員 | 24名 |
| 3. 承 認 | 昭和46年2月11日 |
| 4. チャーターナイト | 昭和46年6月20日 |
| 5. 特別代表 | 二宮 恵一 |
| 6. スポンサークラブ | 瀬戸R.C. |

(2)事 務 所

尾張旭市東大道町原田2570-3
 尾張旭市商工会館 TEL (0561) 54-1263 FAX (0561) 54-8945
 例会場 同上
 例会曜日・時間 毎金曜日・12時30分開会
 取引銀行 東海銀行尾張旭支店

(4)創立会員

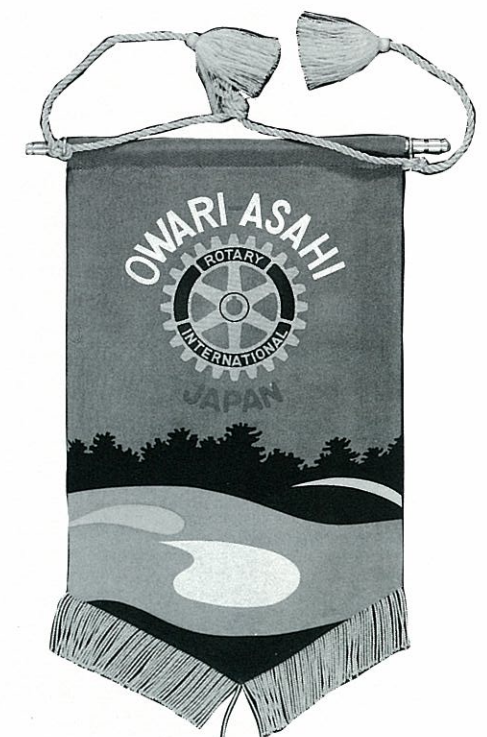
鈴木 英 一	松原伊左エ門
鬼頭 正 好	松原 勝 明
加藤 源 三	松島 隆 隆
安藤 鉦 二	前田 善 彦
早瀬 収 二	丹羽 清 清
伊藤 純一郎	大 嶋 武 雄
加藤 守 守	大 角 周 蔵
加藤 礼 二	太 田 国 雄
角野 昭 一	佐 伯 泰 二
可知 宏 之	吉 村 進 進
水野 正 運	江 尻 育 修
川村 敏 郎	伊達山 勇 正
	以上24名

(3)区域限界

尾張旭市内全域



区域限界の略地図



尾張旭という所

尾張旭市は、尾張東部の丘陵にあり、名古屋市、瀬戸市、長久手町に隣接し、面積は21平方キロ、人口は平成3年1月1日現在で65,859人を数えます。市の北部には、市域の約6分の1を占める県営の森林公園があり、市街地の緑化推進と相俟って、市民の願いである「緑と太陽に恵まれた豊かな健康都市」造りは着実に推進されています。尚一方では、地域住民の要望に応え各種の公共施設が充実されつつあり特に昨年は、市制制定20周年を記念して、旭城近くの高台に高さ69米の大展望台のある立派なギャラリーが建設されることになり、徐々に中部経済圏のベッドタウンに相応しい近代的な文化都市へと変貌しつつあることも否定できません。

市の歴史を辿ると、市内で発見された遺跡や、古窯群の発掘調査の結果、古くは弥生時代から住民がこの地を耕し、集落を形成していたことが確認出来ます。

中世には、各所に豪族が住みつき「小牧、長久手の戦い」の舞台となっています。近世に入ると開田が進み、住民はいわゆる「五反百姓」がほとんどでした。本市域における六集落の原型が形成され、又今日に残る芸能の多くが固定化しました。旭村（明治39年）旭町（昭和23年）尾張旭市（昭和45年12月1日）と推移して、平成3年、市制施行21年目を迎えました。

産業としての尾張旭市は、

1. 農業は近年の都市化の進行により著しく減少しています。昭和50年の耕地面積は354.9haでしたが60年には223.7haと37%も減少しました。産業としての農業のウエイトは極めて低いのが現状です。
2. 工業は東部に隣接する瀬戸市の影響で、戦前・戦後を通じ陶磁器産業が中心でした。しかし、昭和30年代、日本経済が高度成長期に入るとともに、積極的な企業誘致による大手電気機械メーカーの進出などにより、電気・機械工業が主体となってきました。現在は電気・一般機械器具製造業だけで、全製造出荷額の3分の2を占めています。
3. 商業は近年の都市化の傾向に伴って、卸売業や飲食店が目立って増えています。市東部の三郷地区を中心に商業地域が開けていますが、最近では特に国道363号線（瀬港線）沿いに、ハイセンスな新しい店舗が建ち並びつつあります。

文化財については貴重なものが多く、指定文化財として保護されています。市内には三つの無形民族文化財、五つの有形文化財、それに記念物（印場大塚古墳）があります。

棒の手は、愛知県の中央、いわゆる尾張と三河の国境いを中心に分布する民族芸能である。愛知県に存在するその中でも、獅子芝居と共に広範囲に行なわれている芸能の一つである。伝承者の数では最も多いかもしれない。剣・薙刀・槍・鎖鎌など、真剣を使う民族芸能として人気が高い棒の手。しかし、本来はその名が示すように、棒と棒、棒と木刀で立ち合うことを表型としている。裏型である真剣（キレモノ）が主体となるのは、江戸時代も後半になってからである。その発生ははっきりしないが、主に次の二つの説が考えられている。一つには棒のもっている呪術的な要素が発達した神事芸能であるという説、二つには、農民が自衛のために始めたという説である。その普及には修験道の山伏が大きく関与したといわれている。

この地方で馬の頭（オマント）と呼ばれる、神佛へ奉納する飾り馬の警固として、棒の手は加わっている。これは農民たちが行列を整え、氏神や大社、さらに寺院などへ参詣し、そこで棒の手を奉納したものである。このように棒の手は、馬の頭と大変深いつながりがあると共に、その中で育まれてきたのである。

棒の手にも他の武術と同様に多くの流派があり、免許皆伝の際には巻物が伝えられた。それを大変神聖視した。すなわち、祠の中へ納めるなどして御神体のごとく扱った。流派は20余りを数えている。流派が多く発生するのは、修験者が活躍する江戸時代中期から後半である。

尾張旭無形文化財 棒の手 (概要)

昭和33年に県の無形文化財の指定を受け、青少年に継承、伝達されています。

天文23年（1554）、尾張の岩崎城主（愛知県日進町）丹羽勘助氏次がその城下で、棒術の技に達する者を募り、軍装して猿投神社へ参詣した。それが棒の手の始まりであるという発生説話が、猿投合宿へ参加する人々を中心に信じられてきた。しかし、それは馬の頭（合宿）の発生を指すもので、棒の手は遅れてこれに加わった、とも考えられようになってきた。

古くはその名称も、棒・棒術・花棒などといい、いつから棒の手と呼ばれるようになったのか、明確には判っていないのが実情である。各流派の巻物にも「棒」と記されているだけである。

棒の手も、他の民族芸能と同じように、江戸時代から村々における若者組の手で守り伝えられてきた。江戸末期には「馬の頭に棒の手はつきもの」と言われる程、各地へ伝えられ、棒の手の大会も行われたという。明治時代初期には禁示令により消えて行った所も少なくない。また明治時代中頃に甦り、さらに分布圏を広げて行った。だが第2次世界大戦によりその大半が消えようとしていた。ようやく昭和40年頃から復活の兆しが見え始め、土地の祭りで奉納される所が増えて行った。

現在では愛知県内において、73ヶ所余りの地区で棒の手が行われていることが知られている。

尾張旭市には新居に無二流、印場北部に直心我流・東軍流、印場南部に直師無想東軍流・稲葉に検藤流があり、ともに県の無形文化財に指定されて活動している。

(愛知県日進町教育委員会発行の、馬の頭と棒の手より抜萃)

歴代R.I.会長、ガバナー並びにクラブ会長と

1970〜'71 隔りを取り除こう



ウィリアムE・ウオーク
(米)



伊藤次郎左衛門
(名古屋)



鈴木英一

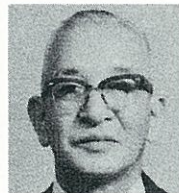
1975〜'76 人間に威信を!



エルネスト・インバッサ
イ・デ・メロ
(ブラジル)



山田市三郎
(名古屋南)



神吉正蔵

1971〜'72 善意は、先ずあなたから



アンストG・
ブライトホルツ
(スウェーデン)



佐藤知雄
(名古屋東)



鈴木英一

1976〜'77 “奉仕、ロータリーを私は信奉する



ローバートA・
マンチエスターII
(米)



藤原正男
(諏訪)



大角周蔵

1972〜'73 もう一度見直そう



ロイド・ヒックマン
(米)



安野譲二
(一宮)



松島 隆

1977〜'78 全人類を結びつけるために奉仕せよ



W・ジャック・デービス
(米)



森 泰樹
(豊橋)



奥谷博俊

1973〜'74 今こそ行動のとき



ウィリアムC・カーター
(英)



原 享二
(飯田)



加藤源三

1978〜'79 手をさし伸べよう



クレム・レノフ
(オーストラリア)

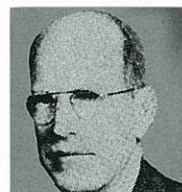


田辺三郎
(常滑)



松田栄一

1974〜'75 ロータリーの精神を振り起こせ



ウィリアムR・ロビンズ
(米)



鮎谷賢太郎
(名古屋)



吉村 進

1979〜'80 奉仕の灯で道を照らそう



ジェームス・L・
ボーマ・Jr.
(米)



川瀬 保
(名古屋南)



松原勝明

ターゲット

1985〜'86 あなたが鍵です



エドワード・F・カドマン
(米)



福田 浩三
(名古屋空港)



可知 宏之

1980〜'81 時間を捧げよう奉仕のために



ロルフ・J・クラリッヒ
(フィンランド)



北野 幾造
(長野)



松島 隆

1986〜'87 ロータリーは希望をもたらす



M.A.T.カパラス
(フィリピン)



塚田 和男
(長野)



加藤 勇夫

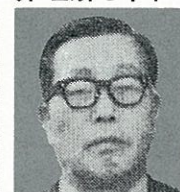
1981〜'82 ロータリーを通じて、世界理解と平和を



スタンレーE・マッキアフリー
(米)



加藤直一郎
(岡崎)



丹羽 清

1987〜'88 ロータリアン—奉仕に結束—平和に献身



チャールズ・C・ケラー
(米)



田中 徹
(半田)



加藤 守

1982〜'83 人類はひとつ友情の橋をかけよう



向笠 広次
(日本)



大隈 孝一
(名古屋)



佐伯 恭二

1988〜'89 ロータリーに活力を—あなたの活力を



ロイス・アビー
(オーストラリア)



高沢 隆
(豊橋)



西村 昌夫

1983〜'84 みんなにロータリーをみんなに奉仕を



ウィリアムE・スケルトン
(米)



奥澤 俊一
(松本)



出分 竜三

1989〜'90 ロータリーを楽しもう



ヒューM・アーチャー
(米)



盛田 和昭
(名古屋)



安藤 鉦二

1984〜'85 見つけよう奉仕の新生面



カルロス・カンセコ
(メキシコ)



奥谷 博俊
(尾張旭)



丹羽 敬

1990〜'91 ロータリーを高めよ 思いを尽くし熱意を尽くし



パウロV.C.コスタ
(ブラジル)



中村 繁男
(岡崎南)



加藤 正高